



Remote System Types ウィンドウ

OnCommand Workflow Automation

NetApp
October 09, 2025

目次

Remote System Types ウィンドウ	1
リモートシステムタイプテーブル	1
ツールバー	2
[新しいリモートシステムタイプ] ダイアログボックス	3
[詳細] タブ	3
[検証スクリプト] タブ	4
コマンドボタン	4
Edit Remote System Type (リモートシステムタイプの編集) ダイアログボックス	4
[詳細] タブ	5
[検証スクリプト] タブ	5
コマンドボタン	6

Remote System Types ウィンドウ

[リモートシステムタイプ] ウィンドウには、OnCommand Workflow Automation (WFA) で使用できるリモートシステムのタイプが表示されます。リモートシステムには、clustered Data ONTAP、Cloud Manager、Active IQ Unified Manager、DataFabric Manager サーバ、E シリーズシステムがあります。

- ・リモートシステムタイプテーブル
- ・ツールバー

リモートシステムタイプテーブル

リモートシステムタイプテーブルには、WFA で使用できるリモートシステムが表形式でリストされます。各列に対応したフィルタリング機能とソート機能を使用したり、列の順序を並べ替えたりして、テーブルの表示をカスタマイズできます。

- ・ テーブル全体のフィルタリングを有効または無効にします。フィルタリングが無効になっている場合は、アイコンの上に赤色の「x」が表示されます。
- ・をダブルクリックします フィルタリングの選択をクリアおよびリセットします。
- ・ 各列ヘッダーのを使用すると、列の内容に基づいてフィルタリングできます。をクリックします 列では、ドロップダウンリストまたは使用可能なすべての項目で特定の項目をフィルタできます。
- ・列ヘッダーをクリックすると、ソートの昇順と降順が切り替わります。適用されたソート順序は、ソート用矢印 ((昇順の場合) および (降順の場合))。
- ・列の位置を並べ替えるには、列をドラッグアンドドロップして必要な順序で配置します。ただし、これらの列を非表示にしたり削除したりすることはできません。
- ・[* 検索 * (Search *)] フィルタテキストボックスをクリックすると、特定のコンテンツを検索できます。さらに、対応する列タイプ、アルファベット、数字を指定して、サポートされている演算子を使用して検索することもできます。

リモート・システム・タイプ・テーブルには'次のカラムがあります

- ・* 名前 *

リモートシステムタイプの名前が表示されます。

リモートシステムタイプを検索するには、* 検索 * フィルタテキストボックスに名前を入力します。

- ・* エンティティバージョン *

リモート・システム・タイプの現在のバージョンを'major.minor.revision'形式で表示しますたとえば'1.0.0'です

リモートシステムタイプを検索するには、* 検索 * フィルタテキストボックスにバージョン番号を入力します。

- ・* 概要 *

リモートシステムタイプの概要を表示します。

リモートシステムタイプを検索するには、 * 検索 * フィルタテキストボックスに概要を入力します。

- * 最終更新日 *

リモートシステムタイプが最後に更新された日時を表示します。

フィルタドロップダウンリストから必要な時間カテゴリを選択すると、リモートシステムタイプを検索できます。

- * 更新者 *

リモートシステムタイプを更新したユーザの名前が表示されます。

リモートシステムタイプを検索するには、 [* 検索 * フィルタ (* Search * filter)] テキストボックスにユーザー名を入力します。

- * ロック元 *

リモートシステムタイプをロックしたユーザの名前を表示します。

リモートシステムタイプを検索するには、 [* 検索 * フィルタ (* Search * filter)] テキストボックスにユーザー名を入力します。

ツールバー

ツールバーは列ヘッダーの上にあります。ツールバーのアイコンを使用して、さまざまな操作を実行できます。これらのアクションには、ウィンドウの右クリックメニューからもアクセスできます。

- *  (新規) *

新しいリモートシステムタイプダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、詳細を入力して WFA に新しいリモートシステムタイプを追加できます。

- *  (編集) *

選択したリモートシステムタイプのリモートシステムタイプ <RemoteSystemTypeName> ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、リモートシステムタイプを編集できます。

- *  (クローン) *

新しいリモートシステムタイプ <RemoteSystemTypeName> - copy ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、選択したリモートシステムタイプのクローンまたはコピーを作成できます。

- *  (ロック) *

Lock Remote System Type (リモートシステムタイプのロック) 確認ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、選択したリモートシステムタイプをロックできます。このオプションは、作成したリモートシステムタイプに対してのみ有効になります。

- *  (ロック解除) *

リモートシステムタイプのロック解除の確認ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、選択したリモートシステムタイプのロックを解除できます。このオプションは、ロックしたリモートシステムタイプに対してのみ有効になります。管理者は、他のユーザによってロックされているリモートシステムタイプのロックを解除できます。

- *  (削除) *

[Delete Remote System Type] 確認ダイアログボックスが開き、選択したリモートシステムタイプを削除できます。

- *  (エクスポート) *

選択したリモートシステムタイプをエクスポートできます。

- *  (パックに追加) *

パックリモートシステムタイプに追加（Add to Pack Remote System Types）ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、リモートシステムタイプとその信頼できるエンティティをパックに追加できます。このパックは編集可能です。



パックに追加機能は、認証が「*なし.*」に設定されているリモートシステムタイプでのみ有効になります

- *  (パックから削除) *

選択したリモートシステムタイプのパックリモートシステムタイプから削除ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、パックからリモートシステムタイプを削除したり削除したりできます。



パックから削除機能は、認証が「*なし.*」に設定されているリモートシステムタイプに 対してのみ有効になります

【新しいリモートシステムタイプ】ダイアログボックス

新しいリモートシステムタイプダイアログボックスでは、事前定義されたシステムタイプが要件に合わない場合や、事前定義されたシステムタイプの設定を変更する場合に、新しいリモートシステムタイプを OnCommand Workflow Automation (WFA) に追加できます。

- [詳細] タブ
- [検証スクリプト] タブ

【 詳細 】 タブ

名前、概要、バージョン、接続プロトコルなど、リモートシステムの種類の詳細を指定できます。

- * 名前 *

リモートシステムの種類の名前を指定できます。リモートシステムタイプを保存するには、名前を指定する必要があります。

- * 概要 *

リモートシステムタイプの概要 を入力できます。

- * バージョン *

リモート・システム・タイプのバージョン番号を 'major.minor.revision' 形式で指定できますたとえば '1.0.0' です

- * 接続プロトコル *

リモートシステムに接続する際に WFA で使用する次のプロトコルのいずれかを選択できます。

- HTTPS を HTTP にフォールバックします

接続では主に HTTPS が使用されます。HTTPS 経由の接続に失敗した場合は、HTTP が使用されます。HTTP 経由の接続にも失敗した場合、接続試行は破棄されます。

- HTTPS のみ
- HTTP のみ
- カスタム

接続プロトコルを選択すると、プロトコル、デフォルトポート、およびデフォルトタイムアウト（秒）フィールドにデータが入力されます。

【検証スクリプト】タブ

選択したプロトコルとリモートシステムタイプの接続をテストできます。

接続をテストするスクリプトを実行するには、* Perl スクリプトのテスト * をクリックします。

コマンドボタン

- * 保存 *

リモートシステムタイプの設定を保存してダイアログボックスを閉じます。

- * キャンセル *

変更がある場合はキャンセルしてダイアログボックスを閉じます。

Edit Remote System Type （リモートシステムタイプの編集） ダイアログボックス

Edit Remote System Type ダイアログボックスでは、名前、概要、バージョン、プロトコル、デフォルトポートを変更できます。既存のリモートシステムタイプのデフォルト

タイムアウト。ネットアップ認定リモートシステムのタイプは変更できません。

- ・ [詳細] タブ
- ・ [検証スクリプト] タブ

[詳細] タブ

名前、概要、バージョン、接続プロトコルなど、リモートシステムタイプの詳細を編集できます。

- ・ * 名前 *

リモートシステムタイプの名前を編集できます。

- ・ * 概要 *

リモートシステムタイプの概要を変更できます。

- ・ * バージョン *

リモート・システム・タイプのバージョン番号を 'major.minor.revision' 形式で編集できますたとえば '1.0.0' のようになります

- ・ * 接続プロトコル *

リモートシステムに接続する際に OnCommand Workflow Automation (WFA) で使用する次のプロトコルのいずれかを選択できます。

- HTTPS を HTTP にフォールバックします

接続では主に HTTPS が使用されます。HTTPS 経由の接続に失敗した場合は、HTTP が使用されます。HTTP 経由の接続にも失敗した場合、接続試行は破棄されます。

- HTTPS のみ
- HTTP のみ
- カスタム

接続プロトコルを選択すると、プロトコル、デフォルトポート、およびデフォルトタイムアウト（秒）フィールドにデータが入力されます。

[検証スクリプト] タブ

リモートシステムの接続をテストするための検証スクリプトを指定できます。検証スクリプトは Perl で記述する必要があります。checkCredentials 関数（\$host、\$user、\$password、\$protocol、\$port）を含める必要があります。\$timeout. 検証中に、WFA は checkCredentials 機能を呼び出します。この機能には、リモートシステムタイプと接続プロトコルに対して設定された値が使用されます。この関数は '接続の検証に成功した場合は値 1' 接続の検証に失敗した場合は 0 を返します

接続をテストするスクリプトを実行するには、* Perl スクリプトのテスト * をクリックします。

コマンドボタン

- * 保存 *

リモートシステムタイプの変更された設定を保存してダイアログボックスを閉じます。

- * キャンセル *

変更がある場合はキャンセルしてダイアログボックスを閉じます。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。